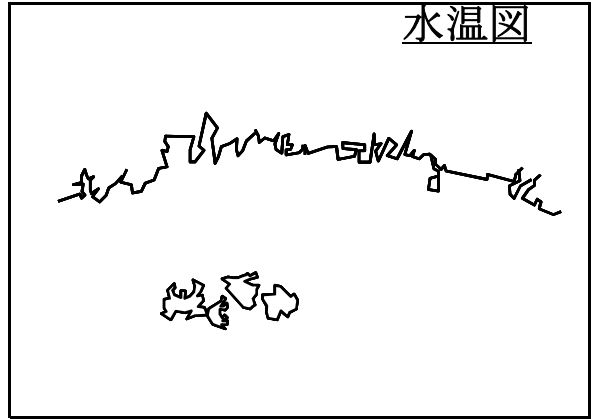


兵庫県のみ漁場環境情報 (西播海域 7号)

平成30年12月14日発行
 兵庫のみ研究所

窒素は地先漁場の一部を除き7~8 $\mu\text{g at/L}$ 台、沖合漁場で概ね7 $\mu\text{g at/L}$ 台とともに平年より高い値となっています。地先漁場でキートセロスや連鎖状の珪藻など複数種が確認されましたが、前回調査と比較し増加は見られず沖合漁場ではこれら珪藻は少ない状況です。

(**栄養塩、珪藻**) 室津漁場以西で前回調査と同種同様の珪藻がやや多く見られたが、発生量は減少しており、窒素は前回の低かった室津漁場で回復していた。それ以外の地先漁場においても珪藻の発生量は全般に少ない。岩見漁場の一部で栄養塩(窒素・リンとも)が大きく低下しておりキートセロス・リゾソレニア・スケルトネマ等の小型珪藻が主体で多く確認されたが、色素が抜けかけており活力は低いと思われる。沖合漁場では珪藻はわずかに確認される程度であり、窒素は7~8 $\mu\text{g at/L}$ 台であった。



		前回値	今回値	平年値	昨年値
西播地先	窒素	8.7	7.9	4.6	5.7
	リン	0.50	0.76	0.52	0.64
家島・坊勢	窒素	6.5	7.5	5.1	7.7
	リン	0.67	0.75	0.67	0.80

(12/5) (12/18)

栄養塩 (窒素) 図

平成30年12月14日調査

